

(様式2)

### 指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和6年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	県民文化部文化振興課
指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団

#### 1 施設名等

施設名	長野県民文化会館 (ホクト文化ホール)	住所 電話 ホームページ	長野市若里1-1-3 026-226-0008 https://www.n-bunka.jp
-----	---------------------	--------------------	--

#### 2 施設の概要

設置年月	昭和58年4月	根拠条例等	長野県文化会館条例
設置目的	県民の文化の振興と福祉の増進を図るため設置する。		
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホール(1,971席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(8室)</li> <li>・中ホール(984席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(6室)</li> <li>・小ホール(300席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、控室(2室)</li> <li>・リハーサル室、展示室、会議室(4室)、レストラン、喫茶室、駐車場(普通車216台、身障者用等10台、バス20台)</li> </ul>		
利用料金	大ホール(56,400～680,000円)、中ホール(28,100～338,800円)、小ホール(8,500～102,400円)、楽屋(900～7,700円)、リハーサル室(7,000～29,600円)、展示室(19,300～30,900円)、会議室(2,600～22,400円)、その他「附属設備」「冷暖房」「持込電気器具電気料」など		
開所日	毎週月曜日、祝日の翌日及び年末年始(12月28日から1月3日まで)を除いた日		
開所時間	9:00～21:30		

#### 3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人長野県文化振興事業団
平成18年度～20年度	指定管理	財団法人長野県文化振興事業団
平成21年度～25年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団
平成26年度～30年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団
令和元年度～5年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団

#### 4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)
選定方法	非公募		

#### 5 指定管理料(決算ベース)

令和6年度(A)	令和5年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
303,562 千円	245,692 千円	57,870 千円	
		増減理由	労務費単価の上昇による委託料の増や、自主事業のウィーン楽友協会姉妹提携事業において、40周年事業を実施したため。

#### 6 指定管理者が行う業務

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・文化会館の利用の許可及び利用料金に関する業務</li> <li>・芸術文化の振興に資する事業の企画及び実施に関する業務</li> <li>・上記業務に附帯する業務</li> </ul>
--

#### 7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:大・中・小ホールの平均稼働率・・・利用日数÷開館日数×100】 (単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度(A)	33.3	51.5	76.8	80.5	69.2	59.1	77.8	85.9	78.3	43.1	38.6	57.5	62.6
令和5年度(B)	40.0	59.4	65.2	88.9	75.6	58.0	80.8	79.5	76.7	46.7	69.0	53.8	66.1
(A)/(B)	83.3	86.7	117.8	90.6	91.5	101.9	96.3	108.1	102.1	92.3	55.9	106.9	94.7
増減要因等	令和6年度は中ホールの修繕の為、騒音対策として工事を行っていないホールの利用抑制を行ったことにより減少した。												

(2) 利用料金収入 (単位:千円、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	8,207	8,377	7,474	9,809	9,196	4,732	16,587	10,840	6,446	2,354	3,195	3,317	90,534
令和5年度(B)	4,118	5,435	7,777	9,203	7,163	11,184	10,299	9,816	7,541	5,440	2,225	5,381	85,582
(A)/(B)	199.3	154.1	96.1	106.6	128.4	42.3	161.1	110.4	85.5	43.3	143.6	61.6	105.8
増減要因等	R7.1～3中ホール貸館停止、R8.1～3大ホール貸館停止により利用(予約)件数は減少したものの、利用料金の引き上げなどもあり、全体としては収入の増加となった。												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有	近年の大規模改修に伴う利便性及び資産価値の向上、近年の物価や人件費の高騰などを考慮し、文化会館条例・文化会館管理規則の一部改正により、令和6年4月から全体的に利用料金が引上げられた。

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和6年度(A):297日	令和6年度(A): 9:00～21:30	無	
令和5年度(B):298日	令和5年度(B): 9:00～21:30		

(様式2)

(5) サービス向上のため実施した内容

・小中高のクラブ活動の練習活動のために、格安料金でホールを利用いただく「学生応援割引制度」(利用日前40日以内で、条件が合えば大・中ホールの利用料が7割引)を実施し、施設の利用促進に努め芸術文化活動を支援した。  
 ・利用者からの要望に応じて開館時間を早めるなどの柔軟な対応を行い、利用者側に立った施設サービスの提供に努めた。  
 ・長野市及び周辺地域に新聞折り込みで配布される週刊情報紙に月1回翌月の催物案内を掲載し、自主事業以外の催物広報にも努めた。  
 ・サービス向上に反映させるため、アンケート箱の設置、自主事業のプログラムにQRコードを掲載し会場以外でのアンケート回答も可能にし、広く利用者の声の把握に努めた。  
 ・SNS(Facebook、Twitter、Instagram)を活用し、情報の発信・収集を行い、集客に努めた。  
 ・キャッシュレス決済導入に向けて引き続き検討を行った。  
 ・会議室、リハーサル室をインターネットによる申込みに移行し、申込の間口を広げるとともに、利用に必要な手続きを簡素化した。また、ホール、展示室についても、会議室、リハーサル室の利用状況を踏まえ、同様の手続きにて利用が可能になるよう、検討を行った。  
 ・利用前の打合せをzoomやメールでも対応可能にし、利用者の都合に合わせてより柔軟な対応を行った。  
 ・大ホール1階ホワイエのコインロッカーを更新し、大型荷物の預け入れが可能になったことにより、来場者の利便性が向上した。  
 ・中ホールホワイエのカーペットを張替え、より快適に利用できる空間づくりに努めた。  
 ・館内に有料コピー機を設置したことにより、利用者の利便性向上に繋がった。  
 ・委託販売チケットのオンライン化に向けて検討を行った。

(6) その他実施した取組内容

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者に安心してホールをご利用いただけるよう外気を通常よりも多く取り入れ、ホール内の機械換気を実施するなど感染防止対策を実施した。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

最も多く寄せられる駐車場収容台数の不足、それに起因する交通渋滞等の苦情に対しては、公共交通機関利用での来館についてホームページ等で広報した。駐車場の混雑が予想される日は、主催者の誘導員のほかに資格を持つ誘導員を配置するとともに、満車の際は近隣公共施設の駐車場への誘導や長野駅周辺の有料駐車場案内図の配布を行った。主催者や当日の駐車場誘導員と綿密な打合せを行い、公演終了後の渋滞が予想される場合は大型駐車場出入口を開放して駐車車両の退場時間を短縮した。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	県民の芸術文化活動の拠点施設を目指し、基本協定書、仕様書及び年度計画書に基づいた管理運営を実施した。	基本協定書、仕様書及び年度計画書に基づいた管理運営が実施されたと認められる。	B
平等な利用の確保	利用申込は個人、団体の区別なく平等に受付け、誰もが公平に利用できるよう、利用申込が重複した場合は抽選により決定した。また、申込受付マニュアルを基に職員の受付対応サービスの統一化にも努めた。	平等な利用が確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	午前9時以前の利用希望に応じるため、設備関係保守管理(含有人警備)及び清掃委託業者を含めた体制を講じた。催し物開催に不可欠な事前打ち合わせや下見も利用者の都合に応じられる体制をとり、より利用しやすい対応を行った。 ホールの利用申込締切りの40日以降も、中学校・高校の吹奏楽練習等は学生応援割引(70%割引)を適用した。 令和7年1月より会議室、リハーサル室をインターネットによる申込みに移行し、申込の間口を広げるとともに、ホール等他施設のインターネット予約を令和7年4月から開始するための準備を行った。利用に必要な手続きの簡素化に繋がった。 併せてSNS(Twitter、Facebook、Instagram)を積極的に利用、発信し、より幅広い世代に会館の情報を届けられるようにした。 オンラインチケット購入システムを導入し、Webでの申し込みが可能となり来館せずに座席の指定、コンビニでのチケット受け取りが可能になりサービス向上に繋がった。	・利用状況に基づいた館独自の割引制度を設け、利用率の向上を図る積極的な取り組みを行っている。 ・インターネット予約やオンラインチケット購入システムの導入等、サービスの向上に取り組んでいる。	A

(様式2)

自主事業	<p>令和6年度は、4つのテーマのもとに事業を実施した。</p> <p>【文化芸術を通じたコミュニティづくり】 「長野県県民文化会館 ウィーン楽友協会姉妹提携事業」 「ベートーヴェン第九年の瀬コンサート歓喜の響宴Vol.9」、 「ワンコイン寄席」</p> <p>【文化芸術の教育普及】 「舞台裏探検隊」 「演劇講習会」 「令和6年度長野県新人演奏会」</p> <p>【多様なマイノリティに向けた芸術鑑賞機会】 「0さいからのオーケストラファミリーコンサート」</p> <p>【県内ゆかりのアーティストとの共創】 「第18回QUEST高校美術教員による美術展」</p> <p>また、今年度は能登半島地震の被災地に向けたチャリティーコンサートを開催し、オーケストラアンサンブル金沢と共に企画し、実施した。入場料を全額寄付する取り組みで、出演者の仲にも被災者があり、観客と共に災害に対する意識を共有するよい機会となった。同じ北信越地区にある石川県とは、今後も連携を図りながら活動の場を広げていきたい。</p> <p>上記以外の自主事業では、開館以来実施してきた長野県県民文化会館とウィーン楽友協会との姉妹提携事業の40周年を企画し、大曲ヴェルディの「レクイエム」に挑むとともに、長野公演だけでなく、伊那公演を行い例年以上に県民のもとへ音楽の楽しさを届けることが出来た。</p> <p>この事業はクラシック音楽を通じた国際交流を図れる事業であり、今後も県内の子供たちを中心とした若い世代に、音楽の魅力を通じて広く世界と繋がれる機会として大事していきたい。</p>	多様なテーマでの事業展開やチャリティーなどに取り組むとともに、ウィーン楽友協会との姉妹提携40周年事業など、文化芸術の力を様々な分野で活かす取り組みがなされたと認められる。	A
職員・管理体制	<p>常勤職員21名(プロパー16名、嘱託員5名)、非常勤職員2名(非常勤嘱託職員2名)、臨時職員1名 計24名。 仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行った。</p>	仕様書及び年度計画書に基づく適正な職員配置が行われている。	B
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症のため、令和2年度に過去最低の利用者数となり、その後、令和3年度から令和5年度まで、順調に回復傾向となったが、令和6年度の利用者数は、令和5年度に比べ、93.7%となった。令和6年度は、中ホールの改修のため約3カ月の工事休館があり、その影響を鑑みると、令和6年度は令和5年度と比べ実質的には横ばいとなった。</p> <p>なお、令和6年度の利用料金収入予算額101,593千円に対して20%減の81,215千円となった。そのうち24,585千円は令和5年度中に受けた前受け金。令和7年度利用分の前受け金は31,592千円だった。なお、収入額は405,569千円で、支出額も同額であり、収支差額は0円となった。</p>	総収入に占める財団管理費からの繰入金収入の割合の増加については、工事休館による収入の減少等に伴う一時的なもの認められるため、概ね効率的な館運営が行われている。	B
総合評価	<p>コロナ前に比べると、一定の回復はあったものの、完全には回復には至っていない。(全国的にも、都市部では回復又はそれ以上、地方は回復途上との評価が多い。)このような状況の中、会館使用の申し込みがインターネットで短時間で入力できるように改善するなどサービスの向上に努めた。</p> <p>自主事業に関しては、ウィーン楽友協会との姉妹提携40周年を記念して、合唱付きの大曲ベルディ「レクイエム」に挑戦し、長野フィルハーモニー管弦楽団と市民合唱団と共に長野公演だけでなく、伊那文化会館での公演を実施し、南信地域への事業周知に努めた。</p> <p>建設以来40年以上が経過して設備の経年劣化による不具合が頻発しているが、利用者(主催者)、来館者(お客様)、テナントへの影響が最小限となるよう適切な修繕管理に努めた。</p>	概ね仕様書等の内容どおりの成果があり、自主事業では会館附属のオーケストラである長野フィルハーモニー管弦楽団とともに、ウィーン楽友協会との姉妹提携40周年記念事業に取り組むなど、積極的かつ適正な管理運営が行われている。	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。  
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。  
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<p>建設から40年以上経過し、施設設備の各所に経年劣化に伴う不具合が生じている。適切なホール環境を維持するため優先順位を付けて県による改修が行われているが、今後も引き続き計画的改修を進める必要がある。</p> <p>また、障がい者駐車場の整備や、降車場所から正面玄関入口まで雨除け庇の設置などのバリアフリー対策が求められる。</p> <p>駐車場はホール収容人員に比べて収容台数が僅少でホール利用者(主催者)には駐車場誘導員の配置をお願いする一方、混雑が予想される日は、資格を持つ誘導員を配置した。催し物開催時には恒常的な周辺渋滞が発生している。自動車利用来館者の大多数は、ホールから迂回して長野駅周辺の有料駐車場に駐車しているのが現状である。他の都道府県立ホール駐車場の約7割は有料化している状況も踏まえ、将来的に駐車場を有料化し、収益を活用してホームページで満車空車情報、周辺空き駐車場情報を来場者に随時配信を行い混雑緩和が図れないか、設置者である県とともに検討する必要がある。</p>	<p>・施設及び設備の劣化に伴う問題については、県全体のファシリティマネジメントの中で、計画的に修繕を行っていく。併せて会館運営における修繕費の扱いについてもより効率的な運用をお願いしたい。</p> <p>・駐車場については、混雑緩和を図るための取組を引き続きお願いしたい。有料化については、利用者負担増の是非、周辺駐車場との調整等課題が多いことから、慎重に検討していく。</p>

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和2年11月18日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
ホームページをもう少し見やすく充実したものにするのと同時に、掲載項目を増やすなど情報発信の幅を広げてほしい。そのために必要な予算の確保もお願いしたい。	<p>HPのリニューアルを行い、よりアクセシビリティに対応したデザインを構築し、館内360°パノラマ画像の設置、よくある質問・参考価格等の項目追加、申し込み方法・料金表を分かりやすく表示し、利用目的に合わせて検索がスムーズに行えるようになった。</p> <p>併せて、SNS(Twitter、Facebook、Instagram)を新規開設し、より幅広い世代に開館の情報を届けられるようにした。</p>	<p>ホームページのリニューアル、SNSの新規開設により、利用者の目線に立った、効果的な情報発信の取組が行われている。</p>
長野駅や駐車場からの動線案内の工夫やSNSでの情報発信、バス運行との連携について検討してほしい。また、駐車場の有料化や、ネットでの周辺の駐車場案内について検討してほしい。	<p>最寄りのJR長野駅東口、駅周辺駐車場からのアクセス案内については改修後のスマートフォン対応のホームページ、SNSで情報提供できるよう改修を実施した。</p> <p>駐車場有料化について、ホール利用者(主催者)の駐車場有料化に関する意向調査を実施したところ、有料化に賛成するご意見を多数いただいた。駐車場有料化に当たっては、満車空車情報、周辺の空き駐車場情報をホームページから来場者がスマートフォン等で閲覧、情報把握できる有料駐車場システムの導入も必要。</p> <p>なお、駐車場の有料化に向けては、設置者である長野県の文化会館条例に駐車料金を規定する一部改正が必要。</p>	<p>周辺施設等との調整を図りながら、施設利用者の利便性向上に向けた取組をお願いしたい。駐車場の有料化については、利用者負担増の是非、周辺駐車場との調整等課題が多いことから、指定管理者と協議しながら慎重に検討していく。</p>
サービス向上のためのアンケートについては、アンケート箱の設置に留まらず、貸館利用者に事後アンケートを実施するなど、より積極的に声を集め、更なる改善につなげてほしい。	<p>ご利用後に利用者から意見の聞き取り、また利用後に留まらず、気軽に意見を書き込めるようWeb上で回答できるシステムを導入し、利用者満足度を把握してサービスの向上に努めたい。</p>	<p>利用者のニーズを把握しながら、一層のサービス向上に努められたい。</p>
音楽系の団体の全国大会の開催などの貸館事業は地域経済にも波及効果があるので、組織的な連携を取りながら情報発信を進めてほしい。	<p>引き続き、長野県芸術文化協会や、コンベンション関係団体などとの情報交換をさらに深め、早めにスケジュール調整を図るよう努めてまいりたい。</p>	<p>関係団体、組織と密に連携を取りつつ、地域活性化につながるような事業の実施と発信をお願いしたい。</p>
収入確保の観点から、自主事業を実施する際には、周辺類似施設の実施内容を踏まえて事業を決定することも必要かと思う。	<p>長野県公立文化施設協議会などを通じ、県内文化施設などとの、情報交換をさらに深め、施設規模などによる催事内容を検討し、調整を図りたい。</p>	<p>収支状況にも配慮しながら、安定した施設運営につながるような効果的な事業の実施をお願いしたい。</p>